

0200

圖參教第三六三號

昭和十四年度
第一 次 關東軍特種演習ニ關スル件通牒

昭和十四年七月一日

關東軍參謀長 磯谷 廉介

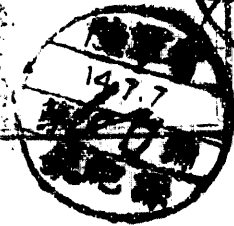
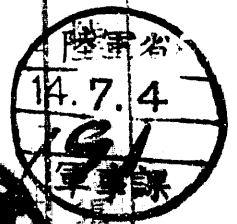
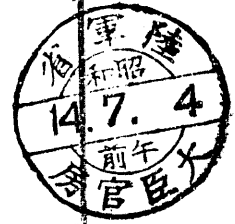
陸軍次官 山 脇 正 隆 殿

別紙要綱及日課豫定ニ據リ首廻演習ヲ實施セシメラルコトニ定メ
ラレタルニ就キテハ左記配慮相成リ度照會ス

進テ細部ニ關シテハ兵器部長ヨシテ兵器局長ニ連絡セシメラルル
管ニ付申添フ

左 記

一 管テ研究シ或ハ目下研究中ニ當スル兵器、器材ニシテ渡河作戦ニ
便用シ得ルモノハ本演習ノ機會ヲ利用シテ北滿ノ大河ニ於テ之ヲ



試験シ以テ演習参加部隊ノ一部ヲシテ此等兵器、器材ニ親炙セシムルコト

ニ前項試験實施ノ爲ニハ關係主任者ヲ派遣スルコト

三九五式操舟機取扱及修理指導ノ爲適任者ヲ派遣スルコト

極秘

昭和十四年度
第一 次 關東軍特種演習實施要綱

第一 目 的

一、大河ノ河岸ニ特種陣地ヲ占領シアル敵ニ對スル攻撃戰鬪法ヲ訓練ス
ルト共ニ併セテ作戰準備竝ニ教育練成上參考タルヘキ資料ヲ求ム

第二、演習時期竝ニ演習地

二、演習ハ概ネ七月下旬ヨリ約一ヶ月トシ哈爾濱東北方松花江江岸地區
ニ於テ實施スルモノトス

第三、編 成

三、統監ハ第四軍司令官中島中將トス

四、統監部ハ附表第一ニ據リ配屬スルモノノ外第四軍司令官隸下部隊ヲ

以テ編成スルモノトス

五、演習參加兵力ノ標準竝ニ差出區分附表第二ノ如シ

第四、經費

六、本演習實施ノ爲ノ經費ハ別途令達ス

附表第一

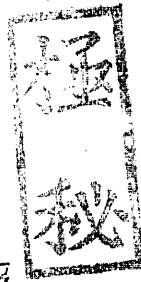
統監部職員並ニ附屬機關差出區分表			
差出部隊	充當豫定業務	兵力	摘要
關東軍司令部	演習一般ノ計畫及指導ニ關スル事項	部附一	
附表第一三示演習部隊差出部隊	指導官	統監ノ定ムル所ニ據ル	
第五軍	演習一部ノ指導ニ關スル事項	將校二	
電信第三聯隊	統監部通信隊	一小隊	主力ハ通信網ノ構成及撤收ノ時期ニ參加スルモ
關東軍飛行集團	統監部航空班	偵察機二	寫眞撮影ヲ準備スルモノトス
第五獨立守備隊	演習地ニ於ケル車馬ノ徵集、馬衛生業務及哈爾濱ニ於ケル宿營ニ關スル事項	將校以下若干	
關東軍自動車第二聯隊	統監部自動車隊	一小隊	
關東軍氣象部	統監部氣象班		

關東軍技術部	濕地通過及渡河器材等ノ審査研究	將校以下	必要ナル器材ヲ携行スルモノトス
關東軍測量隊	寫眞撮影	若干	
關東軍野戰鐵道司令部	輸送ニ關スル事項 哈爾濱ト演習地トノ河上交通保持	將校以下	
關東軍防疫部	給水器材取扱法ノ指導研究及活動寫眞ノ撮影ニ關スル事項	將校以下	
關東憲兵隊	防諜ニ關スル事項	將校以下	
關東軍野戰兵器廠	哈爾濱ニ於ケル演習用兵器彈藥ノ集積、交付及器材修理ニ關スル事項	將校以下	
關東陸軍倉庫	哈爾濱ニ於ケル演習用資材及糧秣ノ集積、交付ニ關スル事項	將校以下	
考 備	<p>一、本表中「充當豫定業務」ハ其大要ヲ示スモノニシテ細部ニ關シテハ統監之ヲ定ムルモノトス</p> <p>二、本表ニ示ス兵力及差出部隊ハ狀況ニ依リ其一部ヲ變更シ或ハ本表ノ外若干ノ人員ヲ參加セシムルコトアリ</p> <p>三、各差出部隊長ハ統監ノ定ムル所ニ據リ演習參加者及部隊ノ職員表及編成表ヲ七月十五日迄ニ統監ニ通報スルモノトス</p>		

附表第二

		演習部隊兵力ノ標準並ニ差出區分表		編成概要		摘要	
兵力		差出部隊		編成概要		摘要	
旅團司令部	旅團司令部	第四軍	第四軍	應急動員ノ編成ニ準スルモ	戰車小隊野戰重砲兵中隊、工兵		
步兵四大隊	步兵四大隊	第四軍	第四軍	大小行李ハ特ニ地方滿馬、	第四聯隊及工兵		
步兵一大隊	步兵一大隊	第五軍	第五軍	滿馬車ヲ徵傭スルコトナク	第二十四聯隊ノ各一中隊ハ主トシテ基礎的訓練ノ期間ノミ參加スルモノトス		
戰車一小隊	戰車一小隊	第一戰車團	第一戰車團	編成シ得ル程度トシ又野砲兵大隊ハ三中隊トシ大隊段列ハ編成セザルモノトス			
山砲兵一中隊	山砲兵一中隊	第五軍	第五軍				
野砲兵一大隊	野砲兵一大隊	第四軍	第四軍				
野戰重砲兵一中隊	野戰重砲兵一中隊	第三軍	第三軍				
工兵第一聯隊主力	工兵第一聯隊主力	第四軍	第四軍				
工兵第十一聯隊主力	工兵第十一聯隊主力	第四師團	第四師團				
工兵第二十四聯隊	工兵第二十四聯隊	第五軍	第五軍				
獨立工兵第二十二聯隊主力	獨立工兵第二十二聯隊主力	第四軍	第四軍				

考	備
<p>三、本表ノ外滿洲國江防軍ノ一部ヲ參加セシムルモノトス</p>	<p>一、參加兵力及差出部隊ハ狀況ニ依リ一部ヲ變更スルコトアリ</p> <p>二、各差出部隊長ハ統監ノ定ムル所ニ據リ演習參加部隊ノ編成表及職員表ヲ七月十五日迄ニ統監ニ通報スルモノトス</p>



昭和十四年度
第一次 關東軍特種演習實施日課豫定

第一、演習實施日課豫定

一、演習實施日課豫定附表第一ノ如シ

第二、演習ノ目的

三、大河ノ河岸ニ特種險地ヲ占領シアル敵ニ對スル攻堡戰鬪法ヲ訓練ス

ルト共ニ併セテ作戰準備並ニ教育練成上參考タルベキ資料ヲ求ム

第三、主要研究演練項目

其一 第一期演習

三、第一期演習ニ於テハ主トシテ渡河作業ノ基礎的訓練ヲ實施ス其主要

ナル課目左ノ如シ

ノ操舟機ノ點檢調整

2. 機舟ノ組立特ニ操舟機ノ取付
3. 機舟運搬ノ際ニ於ケル防音装置、殊ニ操舟機ノ防護法
4. 汎水シタル機舟ノ發動時機ノ選定及發動要領
5. 機舟ノ離岸、着岸及運航（運港内ニ於ケル運航ヲ含ム）
6. 機舟群ノ指揮法
7. 機舟ニ依ル模合舟並ニ門橋ノ結構及模合舟並ニ門橋ノ離岸、着岸及運航
8. 晝夜間ニ於ケル舟艇相互ノ通信連絡
9. 操舟機ノ故障發見並ニ故障排除
10. 機舟ノ應急修理

其二 第二期演習

四、第二期演習ニ於テハ主トシテ器材ノ展開位置ヨリ河岸附近敵第一線
 陸地突入時迄ニ至ル間ノ事項ニ關シ基礎的訓練ヲ行ヒ特ニ下級指揮
 官ヲシテ指揮法ニ慣熟セシム

ノ膠舟及門橋ノ乘組部署竝ニ乘船離岸、着岸上陸ノ要領

ニ器材ノ展開位置ヨリスル機舟ノ運搬部署竝ニ運搬泛水ノ要領

ニ渡場ノ編成、一齊機銃ヨリ循環機銃ヘノ轉移、循環機銃ノ實施要
 領

ニ進入路ノ標示、渡場附近ノ整理等ニ渡河軍隊ト渡場指揮官トノ連
 絡

ニ水際障礙物破壞班ノ編成裝備及破壞要領

ニ河岸ニアル特火點攻撃班ノ編成裝備舟艇ノ乘組部署及攻撃實施ノ

要領

7. 待火點ノ銃眼射線ニ任スル火砲ノ射撃準備、隨地設備及射撃實施ノ要領

8. 渡河部隊各級指揮官ト渡河作業隊各級指揮官トノ協定

9. 發航後ニ於テ不意ニ現出スル敵ノ側防機關ノ破壞又ハ制壓ノ方法

10. 前岸ニ渡河セル部隊ノ迅速ナル掌握

11. 器材展開位置、泛水準備位置、泛水統制線ノ選定並ニ同地ニ於ケル器材ノ展請、配置及空中遮蔽ノ要領等各級指揮官ノ着意スベキ

事項

12. 煙幕ノ展張並ニ之ガ利用法

13. 挺進觀測班（通信隊ノ一部）ノ編成裝備及水底線架設ノ要領

- 14. 機橋及門橋材料ノ前送準備、前送及機橋ノ結構
- 15. 大河ニ於ケル水馬法

其三 第三期演習

五 第三期演習ニ於テハ諸兵連合部隊ヲ以テ渡河攻撃法ヲ訓練ス
 著眼事項左ノ如シ

- 1. 渡河準備秘匿ノ要領
- 2. 戦闘指導ノ爲メノ通信連絡ノ要領
- 3. 砲兵射撃指揮用通信網ノ構成並ニ砲兵ノ迅速ナル進出手段
- 4. 渡河順序及渡場附近ノ整理
- 5. 渡河戦闘ノ指導要領、前岸ニ渡河セル部隊ノ戦闘指揮
- 6. 中洲ノ處理要領

2800

7. 翼隊長トシテ渡河ヲ妨害スル敵側防機關ノ制壓破壊ノ部署竝ニ之ガ實施ノ要領

8. 前岸ニ於ケル交通施設ノ要領

9. 第一線渡河部隊ノ部隊裝備竝ニ個人裝備

10. 渡河戦闘間ニ於ケル彈藥ノ補給、傷者ノ處置

其四 試驗 研究

六 試驗研究ハ目下審査中ノ渡河作戰用器材等ニ付試驗スルト共ニ渡河作戰ニ於テ特殊ノ作業ニ關スル事項等ニ付研究スルモノトス

1. 戰車渡河用器材ノ審査及戰車及裝甲車自動車等ノ渡河要領

2. 敵ノ河上砲艇等ニ對スル對應處置

3. 江上艦艇ノ防材、流木、水雷等ニ對スル處置

4. 特種舟艇（装甲艇、傳令艇、發動艇）ノ河川戰鬪ニ於ケル利用法
 及此等舟艇ノ泛水法ニ關スル觀察
 5. 濕地通過用裝軌車、橋等
 6. 水中障礙物破壞用器材
 7. 砲車ノ履帶
 8. 操舟機及機舟ノ修理ニ關スル事項
 9. 自動車ノ機關ヲ舟艇ニ裝置利用スル法
 10. 水底線ノ架設
 11. 曳行ニ依ル輸送
 12. 後方補給等ノ爲ニ地方舟ノ利用法

附表第一

演習日次並ニ行事豫定及演習部隊ノ集合解散日次表

月		八														七					月
日	曜日	期	間	訓練項目	行事概況	演習部隊集合解散	摘	要													
三十一日	木	第一期演習																			
二十九日	火	渡河ニ關スル工兵作業ノ基礎的訓練																			
三十日	水	渡河攻撃戰ニ關スル基礎的訓練																			
二十八日	金	演習準備																			
二十七日	木	工兵隊到着																			
二十六日	水	工兵隊先發者到着																			
二十五日	火	統監部事務所ノ開設																			
二十四日	月	統監部開設																			
二十三日	火	第二期演習																			
二十二日	水	渡河攻撃戰ニ關スル基礎的訓練																			
二十一日	火	演習準備																			
二十日	日	戰車小隊野戰重砲兵中隊工兵第四聯隊及工兵第二十四聯隊各一中隊解散																			
十九日	土	演習準備(圖上及現地研究)																			
十八日	金	訓練																			
十七日	木	第三期演習																			
十六日	水	諸兵連合部隊ヲ以テスル大河ノ渡河攻撃戰圖法ノ訓練																			
十五日	火	訓練																			
十四日	月	訓練																			
十三日	日	訓練																			
十二日	土	訓練																			
十一日	金	訓練																			
十日	木	訓練																			
九日	水	訓練																			
八日	火	訓練																			
七日	月	訓練																			
六日	日	訓練																			
五日	土	訓練																			
四日	金	訓練																			
三日	木	訓練																			
二日	水	訓練																			
一日	火	訓練																			

解散

各部隊研究會
綜合研究會

一、本表ノ日次ハ狀況ニ依リ若干變更スルコトアリ
二、演習部隊ノ到着並ニ演習地出發日次ノ細部ハ野戰鐵道司令部ノ計畫スル檢送計畫ニ依ルモノトス